

No.185

令和6年5月22日発行

北海道
天塩町議会



こども園「こどもの日会」

02. 令和6年度予算グラフ

07. 第1回定例会

一般質問4名が登壇

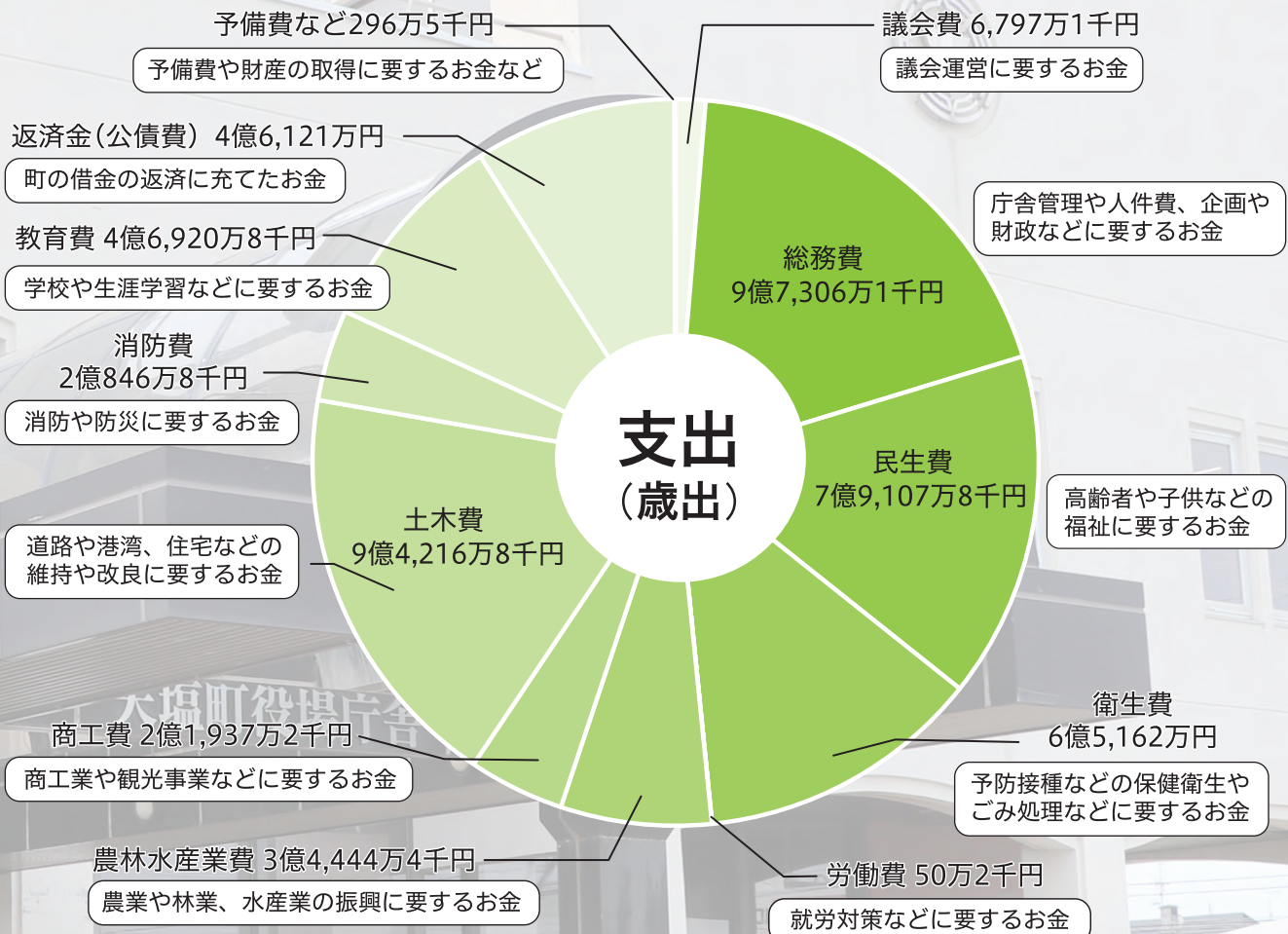
08. 町政のそこが聞きたい

議会だより てしお

予算等審査 特別委員会

3月12～13日

前年度対比 8.7%増



主な事業

給食費を無償化し、子育て世帯を支援します

1,994万円



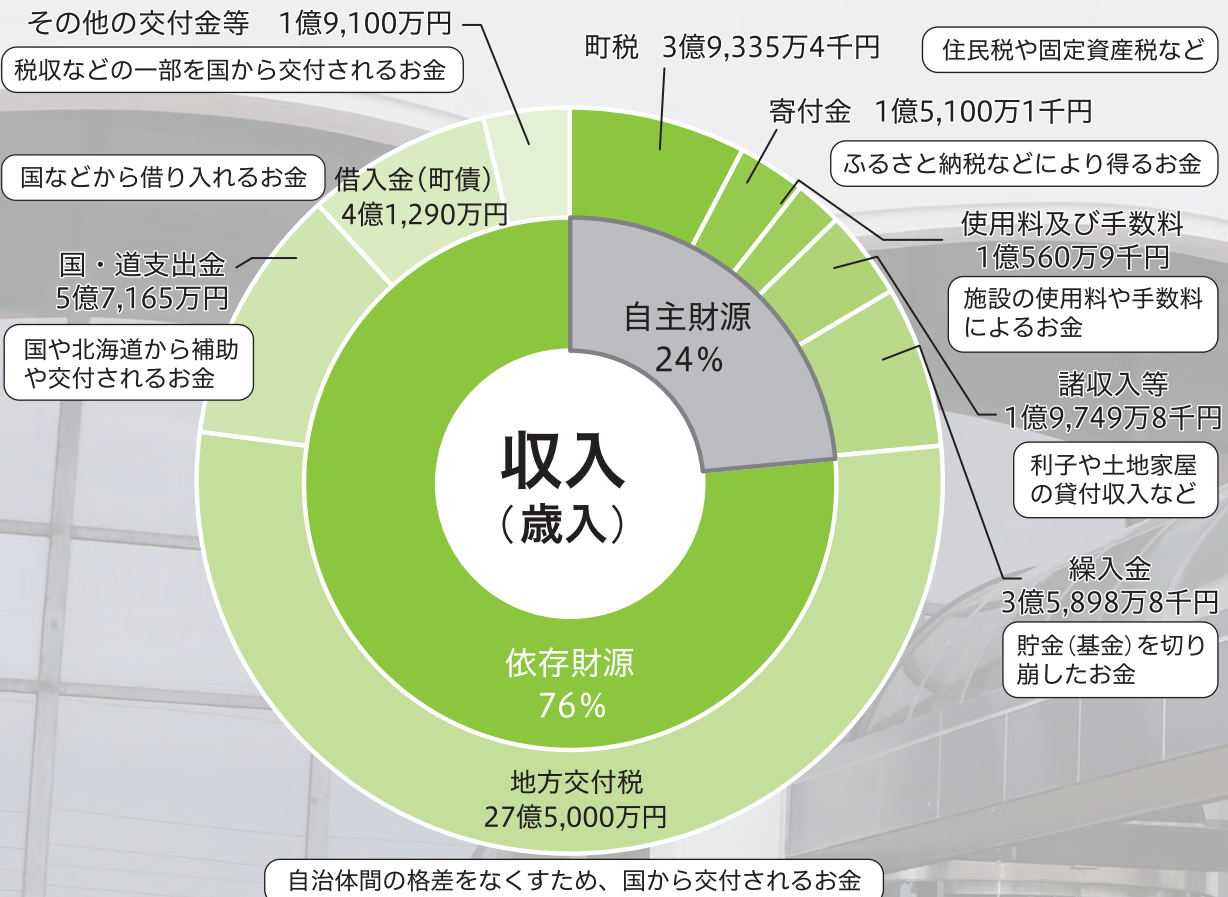
しじみ資源回復への取組みを行います

2,884万円



新年度 予算

一般会計 51億3,200万円



全会計の内訳

会計名	令和6年度	令和5年度	比較	増減率	
一般会計	51億3,200万円	46億4,333万円	4億1,000万円増	8.7%	
特別会計	国民健康保険事業	4億3,800万円	4億4,956万円	2,000万円減	△4.4%
	簡易水道事業	5億4,863万円	7億2,667万円	1億6,623万円増	43.5%
	病院事業(収益)	8億1,480万円	1億647万円	370万円増	0.5%
	病院事業(資本)	9,450万円	2億6,700万円	1,460万円減	△13.4%
	下水道事業	4億7,161万円	2億7,757万円	1億4,961万円増	46.5%
	介護保険事業	3億6,300万円	3億2,925万円	400万円減	△1.09%
	介護保険サービス事業	8,840万円	8,476万円	2,880万円増	48.3%
	後期高齢者医療	5,940万円	4,805万円	810万円増	15.8%
	町民保養センター事業	7,830万円	6,555万円	560万円増	7.7%
	全会計合計	80億8,864万円	73億5,520万円	7億3,344万円増	10.0%

22万円



総務費

町職員採用募集委託料
将来を見越した採用を

山本 昨年度は採用が0だった。毎年数名採用できるよう天塩高校を含めた募集や工夫が必要では。
町長 社会人採用も応募があったが結果的に採用は0人だった。引き続き募集をかけながら、情報収集し、検討します。

令和6年度予算 徹底審査

予算等審査特別委員会で行われた各会計での質疑や提言を要約して一部お知らせします。

委員会での質問数 **131** 項目

613万円



民生費

老人福祉センター管理経費
社会福祉会館と統合は

山本 近年光熱費や維持費がかなりかかっており、コンパクトシティの観点からも将来的に福祉会館と統合しては。
町長 それぞれの施設の機能があるため、経費削減に取り組みながら、各施設を利用していききたいと考えています。

2055万円



企画振興費

地域おこし協力隊事業
一次産業向けの募集は

草刈 一次産業の後継者や特産品の開発など意欲を持った方の積極的な募集が必要では。
町長 募集に制限はなく、何人でも来ていただきたいと思っています。今後募集、PRに力を入れて取り組みます。

229万円



民生費

敬老事業
内容に見直し必要では

草刈 ただ2千円を配るのではなく、天塩町を築いてきた方々に感謝を伝える場を作るべきでは。
町長 可能性としては、町民文化祭に招待し、感謝を伝えるということも可能ではないかと現在考えています。

229万円



民生費

敬老事業
今後の事業の内容は

山本 コロナが収束し、以前のイベント形式での開催の検討をしているのか。
福祉課長 昨年同様対象者に町から2千円の商品券と敬老のしおりを併せて送付する形で実施したいと考えています。

974万円



衛生費

遠別町・天塩町共同斎場運営費負担金
負担金の計算方法は

渡辺 利用実績は遠別町の方が多いために天塩町が多く負担する理由は。

住民課長 負担金について、総額の3分の1が均等割、3分の2を人口割と運営協議会の中で確約したものであり、このルールで負担しています。

76万円



民生費

放課後児童保育事業
保育体制整備必要では

山本 40人の定員をきちんと管理できるように支援員や先生の確保、事業内容やハード面の整備を。

福祉課長 支援員、先生の確保について今後も継続して取り組みます。ハード面の整備は教育委員会と相談します。

9千円



農林水産業費

円山開拓婦人ホーム管理経費
施設の早急な整備を

菊地 トイレや床の整備が必要。特に床が落ちそうになっており、早急な対応が必要では。

農林水産課長 管理については、円山町内会、東産土町内会の方々にお願いしている状況ですが、今後現状を確認し、検討します。

2100万円



衛生費

産業廃棄物最終処分場復旧事業
今後の見通しは

桑田 再稼働に向けて民営と指定管理のどちらなのか現在の見通しは。

住民課長 現在協議中となっており、不確定なところがございます。1つ報告としては、土地の所有者の方にはご理解をいただけるところまではきています。

159万円



農林水産業費

地域資源開発交流施設管理経費
開発部門にもっと力を

菊地 施設に開発専門の人を雇い、天塩の食材を生かした商品開発にもっと力を入れてもいいのでは。

町長 以前からご指摘いただいていますので、今後十分に検討します。

496万円



農林水産業費

酪農ヘルパー事業補助金
町の姿勢と考えは

渡辺 毎年改善を求めているが、結果が出ていない。町としての姿勢や考えは。

町長 農協と協議し、賃金・手当の改善の話をしています。今後募集の部分にも力を入れていきたいと考えています。

2884万円



農林水産業費

パンケ沼底質改善事業補助金 成果と今後の方針は

山本 事業の成果とR12の事業終了後に向けた現状の考えは。

農林水産課長 R5については、底質自体の環境改善、着底稚貝密度の上昇が成果として出ています。事業終了後については今後検討します。

54万円



農林水産業費

木育推進事業 事業の目的は

渡辺 行政が木育推進事業に取り組む理由、根拠は。

農林水産課長 森林環境譲与税を活用して取り組んでおり、趣旨については、子どもたちに木に触れてもらい、将来林業従事者を増やしていきたいという考えがあります。

75万円



商工費

川口遺跡風景林管理経費 観光施設として更なる活用を

菊地 宿泊できるような施設にしてみても。

企画商工課長 遺跡のある土地が国有林となっており、話し合いが難しいと考えられますが、検討したいと思います。

1000万円



商工費

天塩町観光協会補助金 しじみ祭りの開催は

山本 6年度の祭りの開催地と概要は。

企画商工課長 観光協会役員会で協議し、昨年の反省も踏まえ、6年度についても河川公園での開催をしたいと思います。花火大会については別日を行う方向で検討をしています。

257万円



住民振興費

中央町民会館管理経費 委託内容の検討を

山本 年々委託料が増加しているが、今後利用状況や利用頻度に即した委託料にすべきでは。

住民課長 主に労務単価が委託料を押し上げている状況ですが、現行のまま継続するか経費の部分も含め検討課題といたします。

1億9320万円



土木費

南開団地改修事業 南開団地改修の理由は

山本 南開団地の他にも改修すべき住宅があると考え、南開団地を先に改修する理由は。

町長 長寿命化計画と予算を勘案した中で現在南開団地修繕を進めています。今後その他住宅に大きな修繕が必要になった際はご相談します。

補正予算ピックアップ

- 石川県へ能登半島地震災害義援金
- 中学校体育館暖房を改修

第1回 定例会

3月4日～13日

歳出（主なもの）

能登半島地震災害義援金	100万円
中学校体育館暖房機器更新事業	3,755万円
町道除排雪業務委託料	1,500万円

歳入歳出について、総額を51億9700万円とする補正予算案を可決しました。

一般会計

補正予算

除排雪サービス事業
補助金ほか
計1400万円減額

YouTube



質疑要旨

除排雪サービスの増額内容は

渡辺

除排雪サービスについて、昨年度実績よりも増額しているがその理由は、また増額に上限はあるのか。

福祉課長

増額内容について、昨年度に比べ労務費の単価アップが主な理由となっています。また上限についても特段設けていません。

有害鳥獣駆除の現状は

山本

有害鳥獣駆除経費が増額しているが、これは駆除予定数を実績が上回ったのか。

住民課長

増額内容は主にアライグマの関するもので、約350頭を見込んでいたところ1月時点で達しており、今後3月までの増加見込み分を増額しています。

老人福祉センターの光熱費の見直しを

山本

老人福祉センターについて、基本的な暖房は電気系統となつていますが、電気代が高額になっている。今後の見直しの考えは。

福祉課長

電気代が高額になっていることは把握しており、今後施設設備や器具等をどうしていくのかを検討します。

予防接種、健康増進各事業減額内容は

菊地

462万円減額の内容は。

福祉課長

対象人口が若干減少していますが、概ね前年と同様の受診となっています。当初予算と実績との対比により減額での補正としました。



▲近年急増しているアライグマ



▲見直しが求められる老人福祉センター



▲予防接種受付風景

防災対策について

現在の状況と今後の考えは

防災システム（@インフォカナル）の普及状況とスマートフォンの使用が難しい高齢者への対策は。

町長

本年度から本格運用を開始し、新聞折込や回覧により登録を呼びかけるとともに、気象庁など関係機関のHPへアクセスできる機能の紹介、クマ出没や通行止め情報の発信、スマホ教室や町内会行事での登録代行などを行ってきました。

2月末現在の登録状況は、モバイル登録数690件、タブレット端末貸出10件、計700件登録され、普及率は約30%となっています。

高齢者への普及対策としては、住民課と福祉課で協議をしながら、訪問時に登録方法の周知などをしていけるよう体制を構築していきます。

避難所のガイドラインと環境整備、町内会の自主防災組織体制は。

町長

ガイドラインについては、避難所指定から衛生環境の維持、健康管理、配慮が必要な方への対応及び防犯対策などを内容とした内閣府の避難所運営ガイドラインを参考にしています。

自主防災組織については、37町内会のうち23町内会が設立しており、組織率は62%となっています。自主防災組織は町内会単位とする必要はないことから複数の町内会が合同して組織を立ち上げることも含め今後も組織率の向上を図ります。

避難所の環境整備については、天塩小学校をはじめとした6施設を避難所に指定し、開設初期行動に必要な資機材を施設に保管し、避難者規模によって不足が予測される際には順次搬送することとしています。住民全員分の簡易ベッドなどの資機材を確保することは容易ではなく、自助・共助・公助によって皆で助け合い、非常時に備えることが大事だと考えています。

災害用備蓄状況と賞味期限切れの近いものの有効活用について。

町長

災害用備蓄品の状況については、飲料水を含む食糧品等では約6250食分、資機材では土木用資機材、暖房用資機材、電気機器、避難所用資機材など合わせて55種・約1万6300点を町内9カ所に分けて保管しています。備蓄食糧品の賞味期限は5年が大半で、期限切れとなる前に防災教育などの際に消費し、計画的に備蓄数の整備を図っています。

防災訓練の実施状況と訓練の体験型実施の考えは。

町長

避難訓練の実施状況については、今年度は9月上旬に雄信内地域で地域住民と行い、その後、講演という形を取っています。6年度から順次町内会の方で体験型の訓練の方を協議、企画していきたいと考えています。

長山 志津子 議員



▲町内の防災備蓄倉庫▶





一般質問

ふるさと納税と観光振興は

ふるさと納税の状況と今後は

ふるさと納税の制度が変わり、町長が目指す目標額の決意は。

また天塩町として扱える返礼品目数と地元食材の新たな返礼品と今後の取り組みは。

観光施設「夕映温泉」今後の方向性は

夕映温泉は天塩川から望む利尻富士を眺めることができ、ポテンシャルの高い風景、夕日が魅力的であり、そのポテンシャルを活用した返礼品の考え方や施設の修繕など方向性は。

公認インスタグラマー
事業の成果は

食のアイデアとワークシヨップなどを活用し、公認インスタグラマーと新たな事業展開が天塩町の知名度向上と町民へ浸透しているか。

今後の観光振興と観光PRは

町長がトップセールスになる考えとインバウンド復活への取り組み、観光協会事業や町事業としての観光PRの新たな展開と目指す意気込みは。

町長

近年各種ルールが厳格化傾向となっていますが、今後も目標寄附金額に向かって努力していく姿勢が変わりはありません。返礼品は、昨年10月以降、国・道より「新たに提供を開始して差し支えない」とされたものが約20品目ある一方、時期等の都合で一時受付を停止しているものもあり、3月上旬時点で約130品目となっています。今年度の取り組みは、天塩町観光協会や東京天塩会と連携を図り、町内外の販売物産PR、情報発信、広告料を投じてポータルサイトの検索順位を上げることが広告料の予算を増額し行っていくと考えています。

町長

これまで設備等の不具合に対して修繕で対応してきていますが、施設は平成12年3月に竣工してから24年が経過しており、今後は機械設備、外壁について大規模改修の必要性が見込まれます。改修に向けては町唯一の保養施設であること、現在の利用状況を踏まえた上で外部機関による調査、点検を経て個別の施設計画策定の検討を進め、適切な維持管理に努めます。改修には数億かかると想定され、町単費ではなく少なくとも財源のあるもの狙っていくと考えており、少しでも有利になるような制度を担当課や国と協議し、議員の皆さんとも相談をしながら検討します。

町長

高大連携事業において、高校生の食のアイデアをインスタグラマーにてPRを行っており、新年度においても、本町の知名度向上の効果につながるよう、引き続き関係機関と連携します。事業について、予算額を増額し、食材と町のPRとして、もっと活用しなければならぬと考えています。インスタグラマーにお願いしているのは、町の食材源を活用した料理記事をフォロワー数が多い方に投稿してもらうことで、食材や特産品を広くPRする事業となっており、今後においても地域の魅力を全国にPRする場として必要と考えています。昨年度は、11月に天塩高校生の考えたコロッケを作ってもらい投稿しています。また12月はおのつぷ農園の野菜をメインとして投稿しており、ふるさと納税の駆け込み時期に集中して投稿させていただいています。

町長

町のイメージ、観光、ふるさと納税のいずれについてもPRの重要性和合せ、ご指摘いただいた観光施設が抱える課題も認識しています。返礼品、観光振興の在り方を含め、関係機関と協議を重ねつつ、包括的に検討したいと考えています。

山本 春光 議員



技能実習生の支援対策は

支援策の現在と今後は

技能実習生に対して町営住宅の斡旋支援は。

町長

外国人労働者に対する町営住宅等の斡旋支援については、現在、町が管理する町営住宅等に8名の外国人が入居しています。



▲昨年開催した多文化共生交流会の様子

日常生活に対してハイヤー券、温泉券の支援をしては。

町長

現在、町独自の支援は行っていない状況です。ハイヤー券や温泉券の配布といった支援に関しても今後検討をさせていただければと思っています。

おもてなしを含めた交流について、既に計画している内容はあるか。

町長

おもてなしを含めた異国文化交流については、昨年10月30日に「多文化共生交流会」を開催したところであり、本町に在住する外国人24名と、その方達を雇用する事業者7名が参加されました。交流会では、地域おこし協力隊員からスマートフォンで簡単に使える無料翻訳アプリの紹介と使用体験を、住民

課職員からゴミの分別収集や災害時の避難場所などの日常生活における研修を行い、研修後は、レクリエーションを交えた会食交流を行いました。参加者アンケートでは、「またこのような研修

交流会があつたら参加してみたいですか」との問いに対して、全員が「参加してみたい」との回答をいただきました。こうしたことから、令和6年度についても「多文化共生交流会」を開催し、地域との交流の輪を広げ、マチの一員として地域へ溶け込める環境づくりに努めていきたいと考えています。

町長

外国人技能実習生の人数は年々増えてきていると実感しており、交流会では、48名中半数の24名、5か国の方に参加をいただきました。生活の風習や食文化も違い、食1つとつても食べられるものと食べられないものがあり、難しさも認識しています。今後は裾野を広げて交流をしていくことで町に住んでいる人たちの顔が分かれば外国人実習生の方ももう少し住みやすくなるのかなと思っています。6年度に関して

は1回ではなくて、複数回の開催を計画しています。

町長

実習期間の詳細は。

技能実習制度では、技能実習第1号、第2号、第3号の3種類あり、1号は1

年以内、2号は2年以内、3号は2年以内で1号から3号まで変更することで最長5年在留は可能ですが、技能実習

石山直継 議員



が終了した後は原則として、再度技能実習はできないと認識しています。

また、特定技能の実習制度は1号、2号の2種類があり、1号は通算5年、2号は期間の定めはないというふうに認識しています。1号の5年間で満了した後は再度特定技能1号ではできませんが、2号になれば無期限で在留が可能と認識しています。



一般質問

小学校統合の対応策は

いじめ防止の具体策は

① いじめ防止対策推進法の義務付ける組織的な対応は行われているのか。対応ができていないとすれば、点検や助言指導といった実効性ある体制が構築されているのか。

② いじめ早期発見の具体策は。

教育長

① いじめ防止対策推進法の義務付ける組織的な対応について、各学校において「いじめ防止基本方針」を策定しており、校内に委員会を設け、委員は教頭・生徒指導部・教務部・養護教諭などで構成され、その中でいじめに関する研修、いじめ等への実態の把握、いじめ防止等に係る情報の共有を行なっています。また、警察・教育委員会などの関係機関と連携も図り組織的な対応をしています。

② いじめの早期発見のための具体策については、実態を把握するために「全職員の日常における丁寧な観察」定期的情報収集「児童アンケートによる実

態把握」「教育相談週間の実施」などを行なっています。また、校内において「いじめの研修」や「生徒指導事例研修」を行ったり、外部機関による「生徒指導研修会」に教員が出席するなどして、教員の生徒指導に係る能力の向上も図っています。啓徳小学校の統合後の児童に対するフォローは全教員で気にかけて、いじめが起

こらないように「いじめ防止基本方針」に沿って対応します。啓徳小学校の子どもたちが天塩小学校へ滑らかに移行できるよう、令和6年度には、学習や学校行事と一緒に参加する場を位置付けるなど、子ども同士の交流を図っていきます。



▲ R6年度で廃校となる啓徳小学校

天塩高校への支援策は

通学対策の今後の考えは

天塩高校については一問口になった現状の中で、通学費助成、通学対策を今後どうしようと考えているのか。

町長

天塩高等学校への支援について、他町から公共交通機関を利用した生徒に対する通学費助成と公共交通機関を利用できない地域の生徒に対する通学対策についても、令和6年度は継続して行います。天塩高等学校へ進学する生徒が減少し、令和5年4月より一問口となりましたが、存続は保護者の経済的負担や生徒の通学にかかる距離・時間を考えると、自宅から通える高校が必要であると考えています。何より高校の存続は、教員及び生徒が居住することで、町にもたらず経済効果があります。

今後においても天塩高校存続を願う町民や近隣のためにも、支援を継続していく考えです。

渡辺 修勝 議員



▲正面から見た天塩高校





今回の表紙 こども園「こどもの日会」

こどもの日お祝い会が4月26日に、認定こども園おひさまで開かれました。
「おすもう大会」では、先生の「ハッケヨーイ」の掛け声で子どもたちがみんなの歓声を浴びながら、元気に相撲をとっている姿がほほえましかったです。

歳入（主なもの）

ふるさと応援寄附金 2,000万円

歳出

スポーツ大会等参加補助金 56万円

天塩町第一次産業者事業継続支援金事業 2,400万円

屋外木製遊具購入
(木製複合遊具及び木製ブランコ式)

取得方法
指名競争入札
取得金額
1,264万円
相手方
(有)くさかり

第1回
臨時会
1月12日



スポーツセンター前の木製複合遊具イメージ（7～8月設置予定）

議会を傍聴しませんか？



第2回臨時会は5月30日
第2回定例会は6月18日～19日
を予定しています。

天塩町議会 |

検索

YouTube



議会の情報を発信していますので
ぜひご登録ください。

取材の都合により『まちのこえ』の記事掲載を今号はお休みします。



相談コーナーを開設しています。
みなさんからのご相談などありましたらお気軽に議会事務局まで問い合わせ下さい。

【発行】天塩町議会 ☎098-3398 北海道天塩郡天塩町新栄通8丁目 ☎01632-2-1001（代表）
【編集】議会広報広聴委員会 【委員長】後藤 忍 【副委員長】山本春光 【委員】長山志津子 桑田孝彦

この議会だよりは、わかりやすく、読みやすいUD FONT by MORISAWAを使用しています。